

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	2608
平成18年度部名	保健福祉部	課名	保育課	課長名	大村 秀雄
平成19年度部名	こども育成部	課名	保育課	課長名	加藤 通一
事務事業名	乳児保育促進事業				
予算上の事務事業名	乳児保育促進事業補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			13110	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				
施策名	第1施策 保育環境の整備・充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	保育対策等促進事業実施要綱(国) 相模原市乳児保育促進事業補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	平成元年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
乳児の入所については年間を通じた入所児童数の変動があることから、各保育所において安定的に保育を実施できるよう、児童福祉施設最低基準及びその他の補助金などの配置基準に規定する保育士数のほか乳児保育のための保育士を年度当初から配置して年度途中の入所需要に対応できるように助成をする。				民間保育所	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
相模原市乳児保育促進事業補助金交付要綱に基づき、該当園に補助金を交付した。					
国庫補助対象分：9園 1園あたり 1,129,800円 市単独補助分：2園 1園あたり 564,900円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	13,558	14,123	11,298	15,993	15,993
一般財源	9,792	10,357	7,909	15,993	15,993
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	3,766	3,766	3,389	0	0
人件費の合計	800	800	800	800	800
事業コスト合計	14,358	14,923	12,098	16,793	16,793
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	乳児保育促進事業			対象名称 と単位	民間実施保育所数(園)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	13,558	14,123	11,298	15,993	15,993
対象数	14	15	11	15	15
単位あたり経費(円)	968,429	941,533	1,027,091	1,066,200	1,066,200
前年度比		0.97	1.09	1.04	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	1施設あたり年度途中乳児受け入れ平均数（人）	指標式と指標の説明	（前年度3月乳児受入数 - 4月乳児受入数） / 乳児受け入れ保育所数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	4.6	4.6	5.3		
目標	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5
目標達成度（%）	83.6	83.6	96.4		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	乳児保育実施率	指標式と指標の説明	乳児保育実施保育所数 / 民間保育所数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	35.0	35.0	35.0		
目標	36.0	36.0	36.0	37.0	40.0
目標達成度（%）	97.2	97.2	97.2		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	: 良好な状態を維持する事業			
	[]	: 概ね良好な状況である事業			
	[]	: 見直しを行う必要がある事業			
	[]	: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		年度途中の保育需要に対応するための補助制度で、大切な補助事業だと思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
乳児の入所者数の差は、前年度の入所状況や当該年度の申請状況などにより変動することから、成果向上のための方策は特にない。			国庫補助金が平成19年度から一般財源化された。今後特定財源は見込めないが、乳児保育の推進は今後とも必要である。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		より効果的な事業の実施を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			